

うえおか ちせ
上岡 千世 UEOKA Chise

生活科学部 生活科学科 准教授
 教育・学生支援部学生支援課学生相談室課長補佐 准教授（併任）
 E-mail : chise-clinical-psychology@shikoku-u.ac.jp



PROFILE 研究者略歴	DATA 主な業績
<p>■生年月 1964年10月</p> <p>■学位 文学修士（明星大学 1989.3）</p> <p>■学歴 明星大学人文学部心理・教育学科心理学専修卒業（1987.3） 明星大学大学院人文学研究科心理学専攻修士課程修了（1989.3） 徳島大学大学院医科学部医学専攻精神医学分野博士後期課程（2012.10～現在に至る）</p> <p>■主な職歴 徳島大学医学部附属病院精神科神経科臨床心理士（1995.4） 徳島県教育委員会スクールカウンセラー非常勤特別職（1998.4～2009.3） 阿南市保健センター「親と子の相談室」心理相談員（2001.4～2009.3） 徳島県エイズカウンセリング派遣カウンセラー（2004.4～現在に至る） 徳島大学医学部附属病院がん診療連携センター臨床心理士（2006.10～2009.3） 四国大学生生活科学部生活科学科講師（2009.4） 徳島大学医学部非常勤講師（2009.4～現在に至る） 四国大学生生活科学部生活科学科准教授（2016.4～現在に至る）</p> <p>■専門分野 臨床心理学、医療心理学、サイコオンコロジー</p> <p>■現在の研究 「日本人における疾病受容概念の構築～がん患者心理面接による分析」平成23年～25年度文部科学省科研費補助事業採択 本研究は、がん告知を受け、積極的治療を受けた日本人がん患者心理面接記録の分析により「疾病受容とその心理過程」について明らかにする。代表的なキュブラー・ロスの「心理的変遷—5段階説」をモデルに日本人固有の感情表現を抽出、各病期に応じた心の変遷について分析し、日本文化に適合した疾病受容概念の構築を目指すものである。</p> <p>■所属学会 日本心理臨床学会、日本サイコオンコロジー学会、日本心理学会、日本K-ABCアセスメント学会、日本学生相談学会</p> <p>■担当授業科目 【学部】 障害者の心理、カウンセリング演習Ⅰ・Ⅱ、カウンセリング実習Ⅰ・Ⅱ、認知心理学、自己と社会・地域論、卒業研究</p>	<p>■出張授業 1) 心の痛みとエイズ ～エイズ派遣カウンセラーからのメッセージ～ 2) 生きるとは ～がんになっても～ 3) 親と子のこころ ～育児不安から発達障害まで～</p> <p>■主な学会及び社会活動等 1) 徳島市適応指導教室「すだち学級」スーパーバイザー（2001～2005） 2) 難病患者ピアカウンセリング講座講師（2002）（平成14年度地域保健推進特別事業「民・官一体で取り組む難病対策推進事業 徳島県」） 3) 徳島県不登校問題対策推進委員会（2002～2005） 4) 徳島県臨床心理士会医療分野運営委員（2002～2007） 5) 徳島サイコオンコロジー研究会代表（2008～現在に至る） 6) 日本サイコオンコロジー学会代議員（2011～現在に至る） 7) 徳島県人権教育指導員（2015～現在に至る）</p> <p>■主な研究論文・著書等 1) 「ストレッサーの心理学的測定と生体のストレス認知に関する研究」(単著、1989、明星大学心理学年報第7号：43) 2) 「Traits of socially desirable ego in Japanese young women.」(共著、1999、J Psychosomatic Research, Vol. 48, No. 3, p. 275, Oslo, June) 3) 「幼児期の心的外傷体験がなく発症した解離性同一性障害の1症例—発症要因と人格特性に関する考察—」(共著、2002、臨床精神医学30(5)：539-546) 4) 『精神障害をやさしく理解するQ&A253—聞きたくても聞けなかったところの問題—』(共著、2003、日総研出版、名古屋) 5) 『K-ABCにみるアスペルガー障害幼児の特徴』(共著、2010、地域環境保健福祉研究 vol. 13 (1))</p>